

知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより

2006年 9月

第19号



本を読む人シリーズ⑱

古今東西の本を読む人を紹介するシリーズです。

江戸時代中期の職業「論語読み」今でいう学者です。

(『江戸の生業辞典』東京堂出版より)

■ トピックス

▼ 東部図書館催し物のご案内

歴史講座

『江戸時代の椿新田』

米谷博氏(千葉県立中央博物館大根分館学芸員)

12月2日(土) 午後1時30分から

『千漉八万石物語』

猪野映里子氏(大原幽学記念館学芸員)

12月9日(土) 午後1時30分から

(入場無料 どちらか1回のみ参加も可能です。)

▼ 名作映画鑑賞会

毎月第3土曜日に名作映画鑑賞会を開催しています。詳しくは、7ページをご覧ください。

▼ 県立図書館の休館のお知らせ

10月16日(月)から10月25日(水)まで特別整理期間のため休館します。図書館で所蔵している資料の照合や、設備の点検等を行います。

なお、休館中でも当館の資料は、市町村立図書館等を通じ利用できます。

目次

特集：障害者サービスのご案内 … 2

図書館ぶらり散歩⑱

モーツァルト生誕250年 … 4

図書館の達人⑥施設紹介2

ブラウジングコーナー・AVブース … 5

房総文学スケッチ⑪

島崎藤村 … 6

レファレンスあれこれ⑱ … 7

名作映画鑑賞会のご案内 … 7

行ってみよう!近くの施設⑱

大原幽学記念館 … 8

障害者サービスのご案内

図書館の利用が困難な方のために様々なサービスを行っています。

千葉県内に居住・通学・通勤していて、身体障害者手帳または療育手帳をお持ちであれば利用することができます。（手帳の交付を受けていない方は係までご相談ください。）

登録の手続きは、ご来館いただくか、代理人による手続きの他、電話、点字文書、ファクシミリでもお受けしています。図書館におけるサービスは無料です。

お申込み・お問い合わせ：県立東部図書館調査課 電話0479-62-7070

FAX0479-62-7466

図書館の施設・設備について

専用駐車スペースを4台分ご用意しています。

車椅子のまま利用していただける、車椅子用閲覧席、トイレがあります。

図書館の敷地内には誘導ブロック、点字案内板があります。

補聴器を使用されている方のために、レファレンスカウンター、3階研修室、会議室に磁気ループが敷設されています。

その他、インターネット閲覧パソコン（音声読み上げ対応）2台、拡大読書器2台、デスクルーペ2台、車椅子2台などを用意しておりますので、お気軽にご利用ください。



資料の利用について

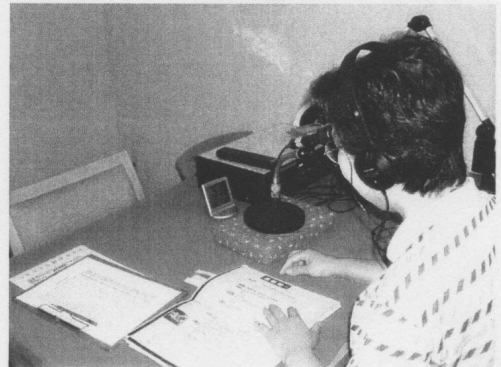
1度に5タイトルまで、4週間借りることができます。

郵送での貸出しも行っています。

録音図書と音訳者のみなさん

視覚障害などで、印刷物を読むことが困難な方に本を聞いていただけるよう、文字、図、表等を原本にできるだけ忠実に音声化した資料を録音図書といいます。カセットテープのほか近年ではデジタル録音された録音図書「DAISY（デイズ）」もあります。

製作には録音の作業以外に、辞書を使って読めない語句の下調べをしたり、修正や校正の作業なども含まれます。当館の録音図書製作と対面朗読は、そのような音訳に必要な専門の知識、技術を持った音訳者のみなさんをお願いしています。



視覚に障害のある方へのサービス

●対面朗読サービス

館内の対面朗読室でご希望の資料を音訳者が音訳するサービスです。
読みたい資料が複数ある場合や、読みたい内容が決まっている場合に便利です。
利用していただくには、準備のため事前にご予約ください。
音訳者はプライバシーを守ります。

●録音図書・CD

録音図書・CDを所蔵しています。当館にない録音図書は、他館から取り寄せて利用していただけます。リクエストによる製作も行います。お気軽にお申し付けください。

●点字資料

点字の辞典は次の5点を所蔵しています。

『新明解国語辞典』『新コンサイス英和辞典』
『鍼灸医学辞典』『漢方医語辞典』『慣用医語辞典』

他の点字資料は他館から取り寄せて利用していただけます。お気軽にお申し付けください。

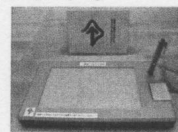


●大活字資料

一般の印刷文字が読みにくい弱視や高齢の方でも読書や調べものができるよう、文字を拡大した図書や辞典（大活字資料）を所蔵しています。

聴覚・言語に障害のある方へのサービス

ファクシミリによる資料の貸出予約や延長、調査・相談をお受けいたします。
カウンターには、筆談に対応できるよう筆談用筆記用具を用意
しておりますので、ご利用ください。

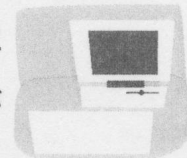


ハンディキャップサービスのページが更新されました

千葉県立図書館ホームページのハンディキャップサービスのページが
新しくなりました。3館の情報や詳しい利用案内がご覧いただけます。

ホームページでは県立図書館が所蔵している資料や、県内市町村図書館が所蔵して
いる資料を検索することができます。

千葉県立図書館 <http://www.library.pref.chiba.jp/>
のトップページから各メニュー（図書館資料の検索／ハンディキャップサービス）へ
お入りください。



モーツァルト生誕250年



『モーツァルト天才の秘密』

中野雄／著 2006 文芸春秋 [76234-156]

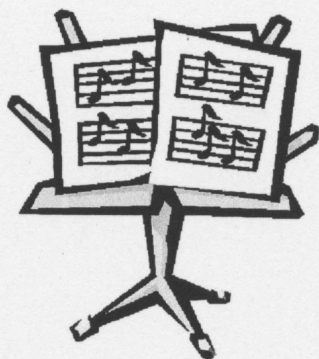
35年間の人生で10年以上を旅に費やし、一時はウィーンで名声を得るも、不遇な最期を遂げたモーツァルト。自ら楽士であり優れた教師、プロデューサーであった父を始め、多くの出会いが天才モーツァルトを作り上げた。18世紀後半ヨーロッパの王朝文化や過酷な旅路など、時代背景も合わせて紹介。今もなお世界で愛される曲の数々が生み出されたのは、実は200年以上も前であったと実感できる。

『音楽の友』2006年1月号 第64巻第1号 音楽之友社

特集「生誕250年・21世紀に息づくモーツァルト」

モーツァルトを特集した音楽雑誌はたくさんある。これもその1つ。

この『音楽の友』1月号では、現在活躍中の音楽家たちが、それぞれのモーツァルト像を語っている。



『文学界』2006年2月号 第60巻第2号 文芸春秋

特集「至高のモーツァルト」

音楽雑誌がモーツァルトを特集するというのは、ある意味当然のこと。

しかし、こちらは珍しく、文芸誌がモーツァルトについて特集した。

モーツァルト像を巡る座談会や、文芸誌らしく文芸作品に見られるモーツァルトなどが取り上げられている。

『コインの中の音楽家たち』千葉一良／著 2001 水曜社 [7399-1]

モーツァルト没後200年（1991年）には各国で記念コインが発行された。本書には他にも多数の音楽家コインが掲載されている。さて、コインへの登場回数が一番多い音楽家は誰？



『私のモーツァルト紀行 斎藤民雄画文集』

斎藤民雄／著 1995 求竜堂 [7231-3]（書庫）

モーツァルトの大ファンという著者がゆかりの地を優しいタッチで描いた絵と、各界24人のエッセイを収録した画文集。

当館所蔵モーツァルトの美しいメロディのCD

①『ピアノ協奏曲第20&21番』（ダニエル・バレンボイム／ピアノ ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団／演奏 1996 テルデック [AD764-201]）

②『アイネ・クライネ・ナハトムジーク モーツァルト名曲集』（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〔ほか〕／演奏 1999 グラモフォン [AD764-305]）

モーツァルトのCDについて詳しく知りたい方は、『名盤鑑定百科 モーツァルト篇』（吉井亜彦／著 2006 春秋社 [7608-18-6]）、『モーツァルトをCDで究める』（福島章恭／著 2002 毎日新聞社 [76234-124]）をご覧ください。

[]内は請求記号です。CD、雑誌は館内でご利用ください。

図書館の達人 ⑥

施設紹介2 ブラウジングコーナー AVブース

今回は、ブラウジングコーナーおよびAVブースについてご紹介します。ブラウジングコーナーは入口の右手にあります。ヘッドホンが14箇所設置されており、音楽を聴きながら読書を楽しんでいただけるソファがあります。となたでも自由にご利用いただけます。ソファの後ろに番組表がありますので、お好きな音楽チャンネルを選んでおくつろぎください。音楽は、3チャンネルから選ぶことができます。CD1は洋楽・ポップス。CD2は演歌・民謡・懐メロ。CD3はクラシック・その他。月毎にプログラムが換わります。ご希望の曲がありましたら、ぜひお申し出ください。♪♪♪

AVブースは図書館左奥にあります。AV席は全部で5席。図書館所蔵のDVD、LD、ビデオを視聴できます。お好みのものがありましたら、そのケースをカウンターにお持ちいただき、用紙に必要事項を記入してください。一つのブースにヘッドホンは3個設置されていますので3人同時にご覧いただけます。時間によっては混み合うこともありますが、カウンターでご予約いただきますと、席が空き次第すぐに所定の機器で、ご連絡いたしますので、効率的にご利用いただけると思います。



【番組表一覧】



【ブラウジングコーナーでくつろぎのひとときを】



【東西の名作の数々】



【AVブースで名作に浸る】

島崎 藤村

詩から散文へ ～銚子行と東金滞在

(しまぎき とうそん 1872～1943)

まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり (『若菜集』「初恋」より)

「初恋」、「千曲川旅情のうた」、「小諸なる古城のほとり」、「椰子の実」などの詩や、『破戒』、『夜明け前』などの小説で知られる島崎藤村が、房総の地にゆかりがあることをご存知でしょうか。

明治31年4月、柳田国男を訪ねる旅の途上で、藤村は銚子^{ぎょうけい}の旅館「大新」に宿泊、翌日は雨の中、犬吠埼に足を伸ばし「暁雞館」に宿泊しました。この旅の様子は紀行文「利根川だより」に描かれました。また、「利根川のほとりにて」と副題された長編詩「農夫」では、『若菜集』に見られる甘い叙情と感性は薄められ、研ぎ澄まされた観察を伴う深い思索が生まれ始めています。「利根川だより」は、銚子旅行から1年後、信州・小諸へ移住した藤村が「千曲川のスケッチ」を生み出す原拠のひとつと言えるでしょう。この旅は、詩人から小説家へ変身していった藤村にとって、意味深いものがあつたのではないのでしょうか。

藤村が加藤静子を後妻に迎えたのは昭和3年11月のこと、藤村57歳、静子32歳の秋でした。静子の姉律子が東金の子安家に嫁いだことから、藤村は度々東金を訪れるようになります。

その暁から降り出した雨は、止みそうにもない。裏の
やぶの竹の葉にそそぐ音だけでも、一雨毎にこの山里へ
冬のやつてきたことを思わせる。

晩年の大作『夜明け前』のラストシーンのこの記述は、子安家の竹やぶでの瞑想がヒントになって生まれたとされています。藤村は「東京ではこうした広い屋敷、とりわけ竹の笹に降りかかる雨の風情などはとても味わえませんね」と語ったそうです。東金とのつながりは、漂泊と苦悩に満ちた藤村の一生の中で、図らずも得た静穏なる老境だったのかもしれません。

◎参考文献

『島崎藤村 房州・『巡禮』』(千葉宣朗／著 千秋社 1980年)

「島崎藤村と千葉県」(『千葉日報』連載 1988/4/25～5/13)

「房総の作家 島崎藤村」(中谷順子／著 『千葉日報』連載1998/12/10～2000/3/23)

■小久保

藤村が初めて房総を訪れたのは明治29年1月末。明治女学校の同僚、小此木忠七郎を見舞うため、小久保(現在の富津市小久保)を訪れました。天津小湊の誕生寺を訪ね鹿野山を越えたこの旅を藤村は小説『春』に描いています。藤村は小此木の勧めで東北学院の教師の職を得、後に妻となる北海道函館出身の秦冬(はた・ふゆ)との出会いもまた漁村・小久保でした。

■稲毛「海気館」

明治41年9月、藤村は『春』の単行本の挿絵を依頼するため、画家・和田英作を滞在先の「海気館」に訪ねました。「帰途車窓より田野の秋を望み、今さらのごとくに収穫の意味深きを感じた」と記した書簡が残っています。その後度々「海気館」に滞在し原稿を書いた藤村でしたが、明治43年8月6日「至急帰れ」の電報を受け取ります。妻の冬はこの日四女を出産した後、出血と心臓マヒを起こし、その夕には帰らぬ人となりました。この日以後、藤村が「海気館」を訪れた記録はありません。

レファレンスあれこれ ⑪

資料に関する調査・相談にお応えしています。過去に寄せられたご相談の事例をご紹介します。

ルイ14世が定めたサン＝ルイ勲章の図版が見たい。

(市立図書館から)

【調査経過】

- ① 『事典現代のフランス』(大修館書店)、『世界大百科事典』(平凡社)及び『勲章の歴史』(雄山閣)はすでに調査済みで、当館所蔵の『ルイ14世の軍隊』(新紀元社)に記載がないかとの問い合わせであった。
- ② 該当資料を当たったが、記載はなかった。
- ③ 当館所蔵のフランス大百科事典『GRAND LAROUSSE UNIVERSEL』で、Saint-Louis (ordre royal et militaire de)の項目を見ると、この勲章の説明があり、さらに「を見よ参照」で ordre de chevalerieの項目を当たると、求める図版が載っていた。
- ④ なお、この事典の説明によれば、サン＝ルイ勲章はカトリック信者を対象に、10年以上の「顕著な徳行と軍功に報いるために」1693年に制定されたもので、出身の身分に拘わらず与えられた。シュヴァリエ、コマンデール、グランクロアの3階級があり、受章者は王へ忠誠を誓う代わりに恩給を授与されたが、フランス大革命により廃止されたとのことである。

【提供資料】

『GRAND LAROUSSE UNIVERSEL』(Larousse 1985) [035-1-1~15]

●担当者のコメント●外国の事物を調べる場合に、日本語で書かれたものがないときは、やはり、その国の百科事典が一番です。ただし、最近はインターネットが発達しているので、もしかしたら、どこかのホームページでこの勲章が紹介されていたかもしれません。 []内は請求記号です。

名作映画鑑賞会のご案内



毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(入場無料)

時間：開場13時 上映13時30分～ 場所：東部図書館3階研修室

来館またはお電話でお申し込みください。(10月は第2土曜日です。)

★ 9月16日(土)『バルカン超特急』

監督：アルフレッド・ヒッチコック/主演：マーガレット・ロックウッド

(1938年 イギリス モノクロ 93分)

列車内で貴婦人が消える事件が発生。ヒロインがその事件に巻き込まれていくサスペンス作品。

★ 10月14日(土)『武器よさらば』

監督：フランク・ボーザージ/主演：ゲイリー・クーパー

(1932年 アメリカ モノクロ 83分)

第一次世界大戦の中で巡り合ったアメリカ人将校とイギリス人看護婦の恋。

★ 11月18日(土)『拳銃無宿』

監督：ジェームズ・エドワード・グラント/主演：ジョン・ウェイン

(1947年 アメリカ モノクロ 100分)

信心深い牧場主一家に命を助けられた荒くれ者の姿を通して「男の勇気」を描いた西部劇。

郷土の歴史を訪ねて

～ 大原幽学記念館 ～

大原幽学は、江戸時代の終わり、東総地域を中心に貧しい農村を救った人物です。度重なる飢饉で荒れ果ててしまった村人たちに、道徳と経済の調和を基本とした「性学」を説き、また、農村改革運動を指導し、世界で初めて「農業協同組合」を作った人としても知られています。

平成8年、香取郡干潟町長部（現旭市長部）に幽学の記念館が開館しました。記念館は、現在、旭市の施設として、

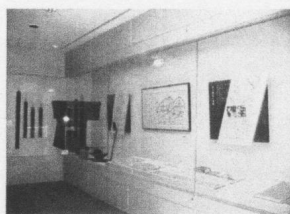


幽学の貴重な遺品や著作類を公開しているほか、東総地域を中心とした歴史・民族をテーマに展示・保存・調査といった活動を行っています。

ゆとりのある館内は1階が郷土展示室になっており、マジックシアター「干潟八万石」では椿海（つばきのうみ）の干拓について分かりやすく歴史をたどることができます。

2階は大原幽学の展示室で、文書類・書籍類・書画類・生活用品などの幽学関係の資料が整然と展示されています。

幽学は一時的には成功を収めたものの、急激な性学運動の発展と、農民の村を越えた行



動により、幕府から嫌疑をかけられて有罪となり、62歳で自殺してしまいます。自刃の際使った「捨て難きは義なり」の文字が刻ま

れた短刀や門人の生活の規範とするために書かれた幽学自筆の掛け軸「規矩」など、貴重な資料を見ることができますので、ぜひ、行ってみてはいかがでしょうか。

今年度、東部図書館で開催される歴史講座は椿海をテーマにしています。皆様の参加をお待ちしています。

- ◆所在地 旭市長部345-2
(Tel 0479-68-4933)
- ◆開館時間 午前9時～午後4時30分
- ◆休館日 月曜日（祝日はその翌日）、
祝日の翌日、年末年始
(12月28日～1月4日)
- ◆入館料 一般 300円
小中学生 200円
15名以上の団体は各50円引き
- ◆URL <http://www.city.asahi.chiba.jp/yugaku/>

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

秋、どこまでも続く澄みきった青空

トンボがすいすい飛んでいる

もの静かに咲くコスモス

読書の秋がやってきました。

図書館で本を借りて読んでみたらどうでしょう。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <http://www.library.pref.chiba.jp/>